

## 広野町消防団・婦人消防隊 秋季検閲式を実施



↑ 秋季検閲式の様子

9月29日（日）、広野町消防団・婦人消防隊秋季検閲式が広野町総合グラウンドで行われ、町消防団員、婦人消防隊員、(株)JERA広野火力発電所自衛消防隊員ら60人が参加し、秋田団長からの訓辞に耳を傾けていました。

遠藤町長は、「近年発生している自然災害により住民の防災防火への関心がより一層高まり、消防団の果たす役割は重要である。今後とも消防の重要性を胸にきざみ、自信と誇りを持ち、町民の期待に応えるべく活動に励んでください。」と訓辞を述べました。また、来賓として出席した橋本徹県議会議員、黒田政徳町議会議長らが祝辞を述べました。

## ふたば未来学園バトミントン部が 団体優勝を報告



↑ 遠藤町長に優勝を報告するふたば未来学園生

10月8日（火）、ふたば未来学園中学校の選手が広野町役場を訪れ、8月に兵庫県で開かれた全国中学校バトミントン大会で男女ともに団体優勝したことを遠藤町長に報告しました。同校バトミントン部は原発事故に伴い、猪苗代町に避難した富岡一中を継承し、今春広野町に拠点を移しての初の全中でした。同学園高の選手も訪れ、8月のインターハイでの活躍を報告し、町に感謝の言葉を述べました。

## 松本洋平経済産業副大臣挨拶来町



↑ 松本洋平経済産業副大臣（右から2番目）と意見交換する遠藤町長

9月18日（水）、松本洋平経済産業副大臣・原子力災害現地対策本部長が広野町役場を訪れ、遠藤町長と意見交換を行いました。遠藤町長は松本副大臣に対して町の現状・復興について説明し、福島第一原発の着実な廃炉やイノベーションコスト構想の推進などを求めました。松本副大臣は、「福島の復興は最重要課題である。廃炉、汚染水処理を着実に進める。」と話しました。

## 常磐共同ガス(株)と連携協力協定締結



↑ 協定書に調印した常磐共同ガス(株)猪狩謙二社長（左）

10月1日（火）、広野町と常磐共同ガス(株)は連携協力協定を締結し、遠藤町長と会社の猪狩謙二社長が協定書に調印しました。同社は同町の広野工業団地内に1.1ヘクタールの敷地に配送機能を備えた営業所を整備し、双葉郡内のガス供給体制が整っていない地域への供給拠点とするとともに、水素を活用した燃料電池など新エネルギー開発に取り組みます。また、整備される施設「エナジーパークひろの」では、防災拠点として非常食3000食を常備し、地元からの雇用など地域貢献を図ることを目的としています。

## 田中和徳復興大臣挨拶来町



↑ 田中復興大臣（右から2番目）と意見交換する遠藤町長

9月18日（水）、田中和徳復興大臣が広野町役場を訪れ、遠藤町長と意見交換を行いました。遠藤町長は田中復興大臣に対して町の現状・復興について説明し、復興庁の後継組織の在り方や財源確保、若者の帰還支援、心の復興などを要望しました。田中復興大臣は、「自治体ごとに復興の進捗に差があると認識している。被災者に寄り添いながら一日も早い被災地の復興に向け全力で取り組む。」と話しました。

## 萩生田光一文部科学大臣が ふたば未来学園を視察



↑ ふたば未来学園中高を視察する萩生田文部科学大臣（一番右）

9月30日（月）、萩生田光一文部科学大臣が就任後初めて福島県を訪れ、ふたば未来学園中高を視察しました。人口減や風評被害など地域課題解決型の学習に取り組む生徒の発表を聞きました。萩生田大臣は、「古里をしっかりと守るという地元の方の思いに寄り添っていきたい。」と述べました。また、2020年度までの復興・創生期間後についても支援を継続する考えを示しました。

## 行政区長会議を開催



↑ 行政区長会議の様子

10月24日（木）、広野町公民館で行政区長会議を開催しました。会議では平成31年度の町の重点事業説明が行われたほか、4月に開催された行政区長会議での質問・要望への対応について説明をしました。また、区長から集会所の維持管理、空き家対策、道路の維持管理などについての質問や要望があり、これに対して遠藤町長や担当課長がそれぞれ回答しました。

## みんなで走るリレーマラソンを開催



↑ 町民ら約50人が42.195キロをバトンでつなぎました

9月23日（月）、広野町総合グラウンドにおいてみんなで走るリレーマラソンが開催されました。町民ら約50人が参加し、42.195キロをバトンでつなぎ、1964年東京五輪マラソンで銅メダルの故円谷幸吉さんのタイム2時間16分22秒に挑戦しました。参加者らは、2時間12分13秒でゴールし、記録を破りました。アンカーの遠藤町長がバトンを受けると、参加した多くの町民らが併走し、一緒にゴールテープを切り、感動を分かち合いました。